



DISC コマンド

この章では、Cisco ONS 15454 SDH の DISC（切断）コマンドについて説明します。

9.1 DISC-TACC

Disconnect Test Access（テストアクセスの切断）

使用上のガイドライン TAP を切断し、接続を元の状態（分割なし）に戻します。TACC の詳細については、『[Cisco ONS SONET TL1 Reference Guide](#)』を参照してください。

このコマンドを適用するには、最初に ED-<VC_PATH> または ED-VC12 コマンドを使用して TAP を作成する必要があります。

エラーメッセージが返されるアクションは以下のとおりです。

- このコマンドをすでに切断している接続に送信すると、SADC エラーメッセージが返されます。
- システムが TAP を解放できない場合は、SRTN エラーメッセージが返されます。



(注) 侵入型テストアクセス接続の場合、このコマンドの実行後にファシリティ/パスの元の状態が復元されます。TL1 セッションが終了するかまたはタイムアウトになると、テストアクセス接続は自動的にドロップされます。

カテゴリ トラブルシューティングとテストアクセス


セキュリティ メンテナンス

入力形式 DISC-TACC:[<TID>]:<TAP>:<CTAG>;

入力例 DISC-TACC:CISCO:8:123;

入力パラメータ

表 9-1 DISC-TACC 入力パラメータ

パラメータおよび値	内容
TAP	テストアクセス パス番号。TAP 番号には、1 ~ 999 の整数を指定する必要があります。タイプは string です。
	 (注) このコマンドは、1 回に 1 つの TAP の切断だけをサポートしません。